

クリーンセンター ニュース

第1号

■発行者■

秦野市伊勢原市環境衛生組合
施設計画課（秦野市首屋 4624 番地）
Tel 0463-82-2500
Fax 0463-83-5933
E-mail: info@hadanoshi-iseharashi-kek.or.jp

平成20年4月28日発行

「先進ごみ処理施設見学会」を開催しました

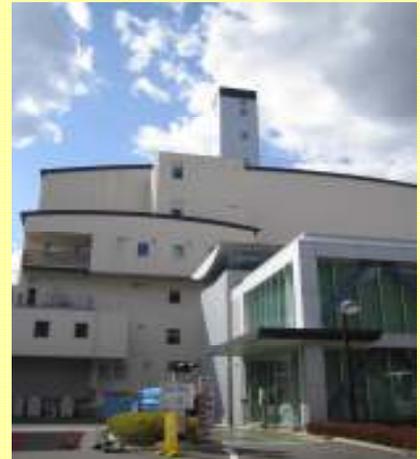
去る2月25日に、秦野市民と伊勢原市民74名が、静岡県掛川市にある「環境資源ギャラリー」を見学しましたので、その様子をお知らせします。

環境資源ギャラリー（写真1）は、掛川市と菊川市のごみを処理することを目的に平成17年9月に稼動開始した施設で、ガス化溶融施設、リサイクルプラザ、容器包装博物館で構成されています。

◎ ガス化溶融施設

ガス化溶融施設は、可燃ごみの処理を行う施設で、1日に140tのごみを処理できます。最大の特長はごみをすぐに焼却するのではなく、熱分解ドラムの中で蒸焼きして、そこで発生した可燃性のガスと炭を燃焼溶融し、資源物のスラグ（ガラス状の砂粒）にすることです。また、熱エネルギーを利用した発電も行われています。

写真1



環境資源ギャラリーの外観

写真2



容器包装博物館で説明を聞く参加者

◎ リサイクルプラザ

リサイクルプラザは、不燃ごみと粗大ごみから資源物を回収する施設です。粗大ごみの破碎機や鉄・アルミを回収するための選別機等を備え、5時間当たり30tの処理能力があります。

◎ 容器包装博物館

容器包装博物館（写真2）は、全国初の容器包装に関する博物館で、容器、包装を通じて環境問題を学習する施設です。常設展示のほかに企画展示（見学時は地球温暖化がテーマ）があり、リサイクルに関する講座やイベントも開催されています。

見学後に実施したアンケートでは、「クリーンセンター建設後の交通量増加が心配なので、交通アクセスに十分な配慮を」、「余熱利用施設については周辺住民の意見に配慮すべき」などの施設に対するご意見や、「伊勢原市でも4月からごみの出し方が変わるので、分別によってごみを資源に変える努力をしたい」など、ごみの減量・分別に関するご意見がありました。

なお、この見学会は、今年度も実施する予定ですので、皆さんの参加をお待ちしています。

◆ クリーンセンター施設検討委員会の中間報告 ◆

—事業方式は「公設公営」、「公設+長期責任委託」が望ましいとの提言—

クリーンセンター建設に当たって、事業方式や発注方法を検討するために、組合議員、学識経験者、行政職員からなる委員14名でクリーンセンター施設検討委員会を組織しています。

事業方式に関する検討の結果が、2月4日に中間報告されましたので、お知らせします。

クリーンセンターの建設と運営に関する事業方式は、大きく分けると、**公設公営**、公設民営（**長期責任委託**、**DBO**）、民設民営（**PF1**）といった方式があります。

委員会では、組合がクリーンセンターを所有することを前提に、最優先すべき事項である安全・安心の確保、住民理解といった点に加えて現在計画している事業スケジュールの実行可能性を考慮し、検討を重ねました。その結果、採用する事業方式は、「公設公営」、「公設+長期責任委託」が望ましいとの提言をまとめました。

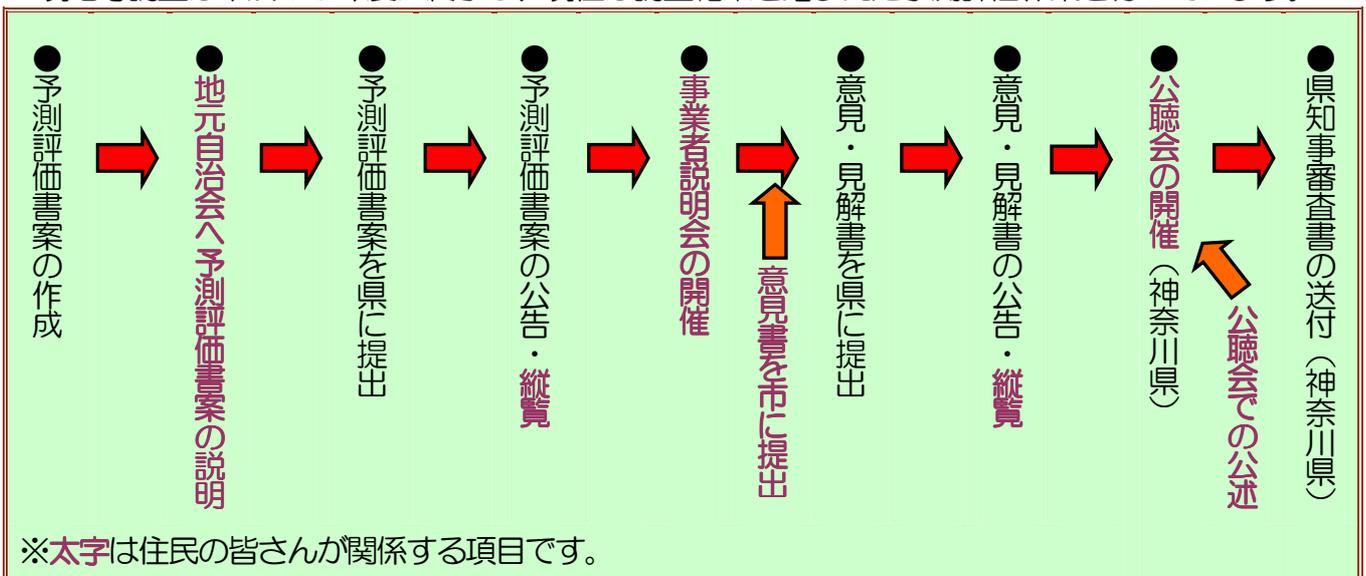
詳細につきましては、組合のホームページに掲載していますので、ご覧ください。

ことばの解説

- ・ **公設公営**…地方公共団体が民間事業者が公共施設の設計・建設を発注し、維持管理・運営も地方公共団体が行うことをいいます。
- ・ **公設+長期責任委託**…公設民営の1方式で、地方公共団体が建設した公共施設について、民間事業者が維持管理・運営を事業期間の終了時まで行うことをいいます。
- ・ **DBO**…公設民営の1方式で、地方公共団体が、公共施設の建設と維持管理・運営を合わせて民間事業者が発注する事業方式です。
- ・ **PF1**…公共施設の建設・維持管理・運営を民間事業者の資金、経営能力、技術的能力を活用して行うことです。

平成20年度・環境アセスメントの流れ

現地等調査は平成19年度に終了し、現在は調査結果を踏まえた予測評価作業を行っています。



このニュースは、クリーンセンター建設用地周辺の自治会の皆さんにお届けするとともに秦野市内及び伊勢原市内の公共施設でも配布用として置いています。



ご意見、ご質問等は下記へお寄せください。

■ 秦野市伊勢原市環境衛生組合 施設計画課 電話:82-2500 FAX:83-5933
ホームページ: <http://www.hadanoshi-iseharashi-kek.or.jp> E-mail: info@hadanoshi-iseharashi-kek.or.jp